

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	学校施設課長	濱本 正行
教育-18	重点事業	小学校施設整備事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 学校施設課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	学校教育	施策の方針	学校施設の整備

1 事業の目的

対象	市立小学校16校
意図	安全で良好な教育環境を確保するため。
効果	児童たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

2 平成28年度に実施した事業の概要

第一小学校外3校の冷房設備設置工事設計を行った。 富士塚小学校のトイレ改修工事設計を行った。 小坂小学校のトイレ改修工事(第1期)及び工事監理を行った。 植木小学校の特別支援学級教室改修工事を行った。 関谷小学校の校舎外壁(南東面)改修工事を行った。 御成小学校の児童数増に対応するため、仮設校舎を賃借した。 鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画を策定した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,925世帯	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数	8,061人	7,947人	7,947人	7,947人	7,940人	7,940人	
事業の対称者数	8,061人	7,947人	7,947人	7,947人	7,940人	7,940人	
運営資源状況	決算値(千円)	122,150	185,441	185,441	当初予算(千円)	76,623	繰越明許 第一小学校外3校冷房設備設置事業 富士塚小西棟・小坂小体育館等トイレ改修事業 ・事業費 564,397千円 ・国県支出金 47,041千円 ・地方債 516,700千円
	国県支出金	15,968	8,140	8,140	国県支出金		
	地方債		91,900	91,900	地方債	40,300	
	その他				その他		
	一般財源	106,182	85,401	85,401	一般財源	36,323	
事業運営	人員配置数	0.4	0.4	0.4	人員配置数	1.7	
	人件費(千円)	2,999	2,988	2,988	人件費(千円)	12,932	
	総事業費(千円)	125,149	188,429	188,429	総事業費(千円)	89,555	
経費	市民1人当りの経費(円)	706	1,065	1,065	市民1人当りの経費(円)	507	
	対象者1人当りの経費(円)	15,525	28,831	28,831	対象者1人当りの経費(円)	11,279	

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 学校施設の老朽化の状況を調査し、今後の統合や再編を踏まえた改築や大規模改修等施設整備の検討を行う。 事業へ統合
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 普通教室冷房設備設置、トイレ改修工事の加速化(毎年1校から2校へ)及び御成小学校旧講堂保存活用の実施に向け、予算規模を拡大する必要がある。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	学校施設及び設備の老朽化が進む中、限られた予算の範囲内で計画的に改修事業を実施しているが、以下の点について今後重点的に実施する必要がある。 教育環境の改善を図るため、トイレ等各改修工事を進める。 (小学校トイレ未改修:7校、11系統。小中学校で未改修19系統あり、毎年1系統の工事だと19年掛かる。) 小学校普通教室への冷房設備設置を行う。 鎌倉市立御成小旧講堂保存活用計画に基づき、旧講堂の保存活用に向けた改修工事設計を行う。 学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等施設整備の検討を図る。	

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	普通教室への冷房設備設置に向けた準備を進めなければならない。御成小学校旧講堂の保存活用について検討しなければならない。老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	
課題解決のために行った平成28年度の取組	普通教室への冷房設備設置に向け、設計業務を実施した。 鎌倉市立御成小学校旧講堂保存活用計画を策定した。 小坂小学校トイレ改修工事(第1期)を行った。 老朽化していた関谷小学校校舎外壁(南東面)改修工事を行った。 平成29年4月に新たに開設する植木小学校の特別支援学級教室改修工事を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	学校施設の老朽化の状況を調査し、改築や大規模改修等施設整備の検討を図らなければならない。小学校16校の普通教室への冷房設備を設置しなければならない。御成小学校旧講堂の改修設計を行わなければならない。老朽化の進む学校施設及び設備について、限られた予算の範囲で、学校施設の維持保全・延命化に努めなければならない。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	普通教室冷房設備設置状況 ○:全小学校設置 △:一部小学校設置 ×:全小学校未設置								
団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	逗子市	三浦市
他市実績	×	○	○	△	×	×	×	○	×
比較事項									
団体名									
他市実績									
比較事項									
団体名									
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	近隣市では普通教室への冷房設備設置が順次進められており、児童の健康で安全な学習環境を構築するため、本市も計画的に事業を進めていきたい。								

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	普通教室への冷房設備設置					単位	校	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
計画どおり平成31年度までに小学校全16校の普通教室に冷房設備を設置する。	目標値				4.0	10.0	16.0			
	実績値									
	達成率									
指標の内容	トイレ改修					単位	系統	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
7校11系統のトイレが未改修だが、31年度までにこのうち4系統の改修工事を行う。	目標値				2.0	3.0	4.0			
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	普通教室への冷房設備設置については、計画どおりに事業を進めている。 トイレ改修工事については、改修の加速化を図って、小学校、中学校合せて毎年2校(2系統)ずつ工事ができるよう事業を計画している。									